

国道38号バイパス整備による市街部の交通混雑緩和

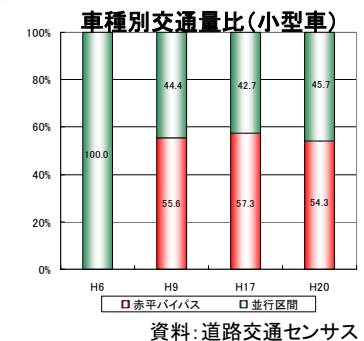
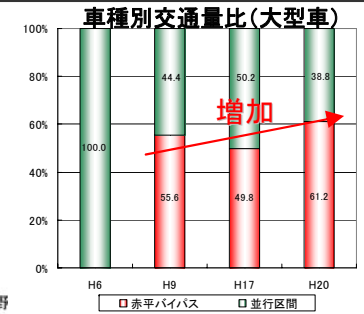
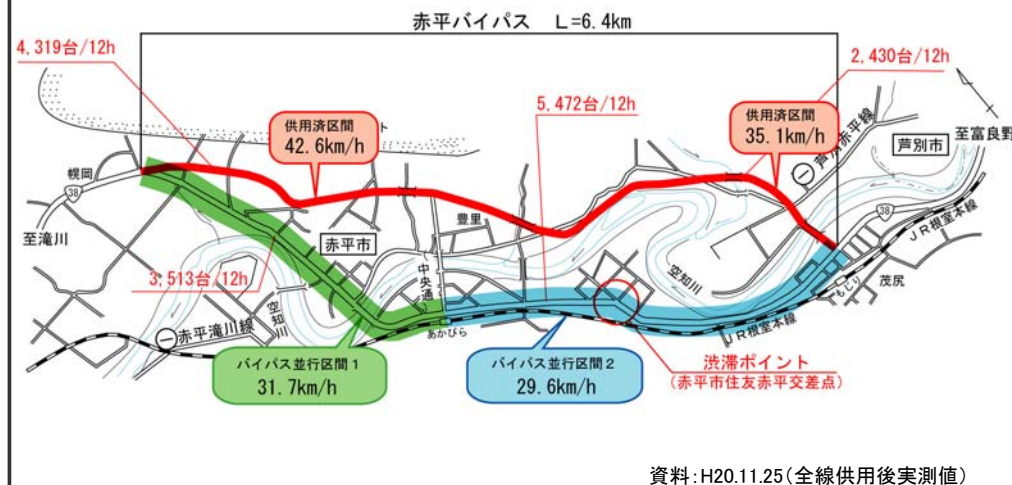
●一般国道38号は、滝川市、赤平市、芦別市、などの中空知地域の各市から帯広市・釧路市を結ぶ延長約298kmの主要幹線道路である。赤平市街地部の交通混雑が発生していた。

●バイパス整備により、大型車両がバイパス区間を通行し、走行車種分離がはかられ、赤平市街地部の、交通混雑が緩和した。

●交通混雑の緩和により、救急搬送時の走行環境の改善への支援がはかられた。

●当該箇所における車種別交通量比の経年変化

バイパス区間を通行する大型車両は、整備に伴い年々増加し、全線供用後、大型車両の61%がバイパスを通行し、走行車種の分離がはかられた。

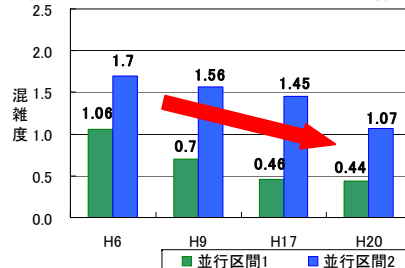


●位置図



●赤平市街地部の混雑度の経年変化

バイパス整備による走行車種分離効果により、赤平市街地部の交通円滑化がはかられ、混雑が緩和



●交通円滑化による救急医療支援



札幌以北の空知地域は、年々高齢化や病院数の減少等といった医療サービスが低下し、救急搬送が広域化しており、バイパス整備により、救急搬送時の速達性、定時性、快適性を支援。

資料: 札幌開発建設部調べ